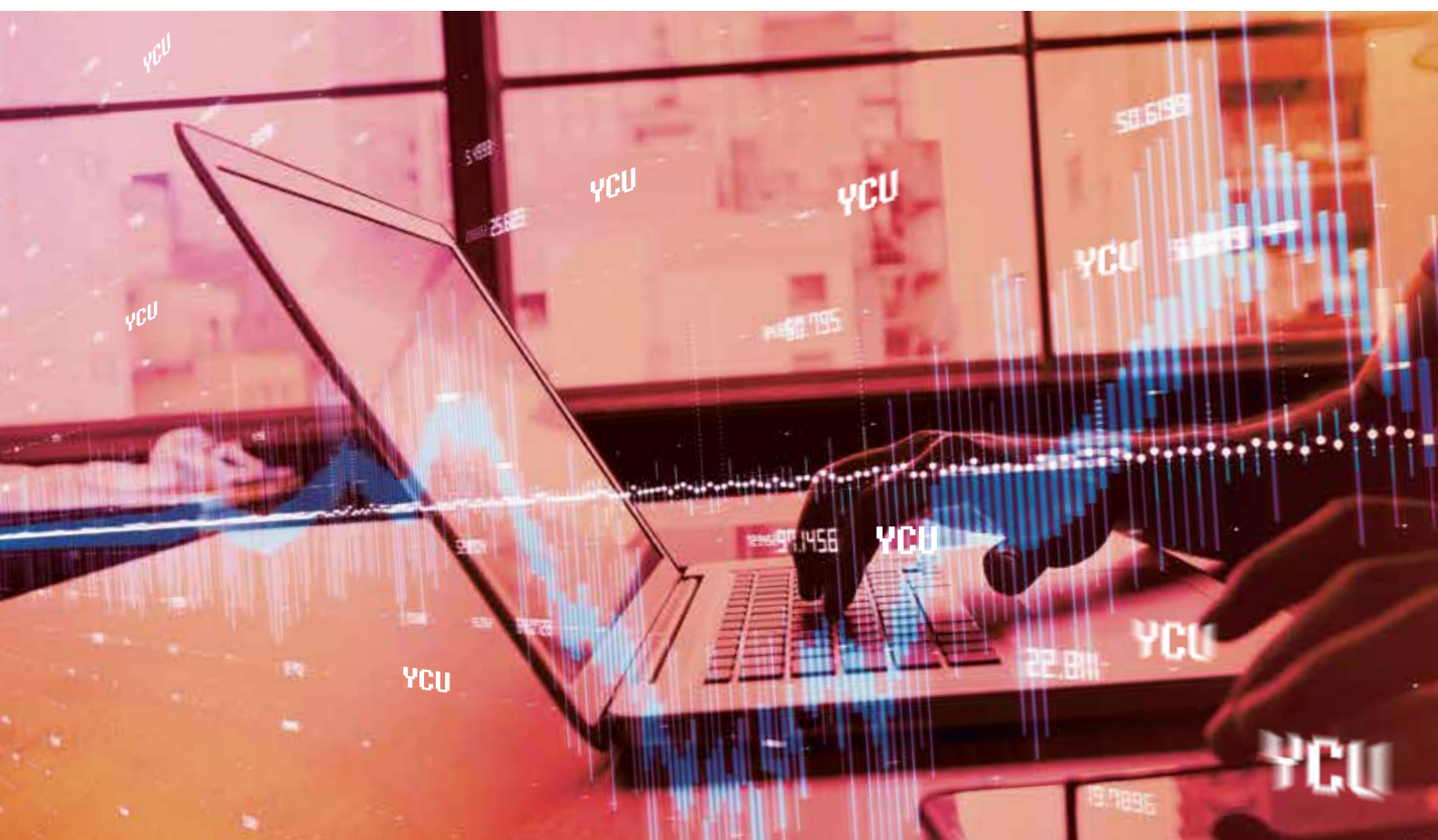


国際商学部



こんな学びを志向する人に

-  企画立案する方法や起業する方法を学びたい
-  金融機関の活動や金融などの政策について学びたい
-  グローバル企業で活躍するための経営管理能力を身に付けたい
-  「経営学」と「経済学」を1年間学んでから深く追求する学問を決めたい
-  さまざまな専門職(公認会計士、税理士)を目指したい
-  民間企業から公務員まで、幅広く自分の可能性を広げる学びをしたい

国際商学部の特徴

国際商学部は、経営学・経済学を中心とする学問的専門性に基づき、現実の国際的な労働・製品・金融市場の動向を踏まえた社会経済活動を学ぶと共に、国際商業都市・横浜という地域での学びを通して、既成概念にとらわれない課題発見力と企画立案力、そして実業界で役立つ確かな英語力を培います。また、文理融合的思考力を養い、数理解解力やデータ分析力等を生かした特色ある教育を行います。これらの教育を通して、グローバル企業に必要な経営管理能力や新事業を創造する企画立案力を備え、学問的な専門性に裏付けられたマネジメントに関する高度な「実学」力により、実業界や公的組織で活躍する幅広い職業人を養成します。

特色1

英語で学ぶ専門科目でビジネスに強い英語力を強化

皆さんが大学を卒業する頃には、会議での公用語が英語となっている企業は増えていることでしょう。そうでないとしても、仕事で英語を使用する機会は確実に増えています。つまり、グローバル企業で活躍するために欠かせないのは、コミュニケーションのための英語力だけでなく、仕事に生かせる実践的な英語力だと考えます。そこで、国際商学部では、英語による専門科目（Global Business Strategy、Advanced Topics in Economics、Introductory Accounting 等）を多数学ぶことができます。たとえば、Introductory Accounting を2年次後期に学修してもらうために、1年次に簿記入門、2年次の前期に会計学原論という関連科目を事前に日本語で学修できるように計画されているので、英語での専門科目の学修も無理なく進めることができます。

グローバル企業に必要な
経営管理能力

新事業を創り出す企画立案力

特色2

海外で実践力を養う、海外インターンシップ

グローバル企業は世界各国に支社や事業所を開設しています。日本企業もこれから急速に世界中の都市に進出していくことでしょう。つまり、近い将来、「企業で働く」ということは国内だけでなく海外をフィールドとして活躍することを意味するのです。そこで、国際商学部ではこれからのビジネスには欠かすことのできないグローバルな視点と経営管理能力を入学後の早い段階から意識し、確実に獲得してもらうため、また、在学中に海外で働くことを体験してもらいたいという思いから、海外企業等へのインターンシップに参加する機会を提供していきます。たとえば、本学卒業生とのネットワークから、シンガポールにあるコニカミルタビジネスソリューションズアジアでの実習が実現しています。

実社会で使える英語力

問題解決のプロセスを身に付ける
企画提案型実習

創造的思考力を養成する
文理融合型実習

経営学

実学

経済学

特色3

データ分析、起業、医療経営など多様な専門性を育成

ビジネスの世界、たとえば、新商品を開発し販売し収益を上げるまでには、どこに工場を建設するのか、原材料はどこから購入するのか、工場の作業員をどのように確保するのか、商品の広告費にいくらかけるのか、そして、商品の価格はいくらにするのか、その他、決断しなければならない課題がたくさんあります。こうした課題解決に経営学と経済学の知識は必須です。しかし、今ではこうした課題の解決に経営学や経済学以外の知識も必要となっています。そのひとつが膨大なデータを分析し数値化する能力です。また、経済成長が見込まれない社会で企業が発展していくためには、新事業を創り出す（起業する）ための企画立案力も必要となってきます。その他、人口が減少していく社会では医療に関する課題も山積しており、こうした諸課題に経営的な視点からの解決が強く求められています。そこで、国際商学部では、本学のデータサイエンス学部や医学部と連携し、「計量経済学」、「起業家人材論」、「医療イノベーション経営管理論」等特色ある科目を設け多様な専門性を育成します。

Message from the Dean

「人と進んで交わり共に資質を高める」という理念のもと豊富な卒業生ネットワークを生かして、グローバル社会で活躍するための実学力を高める。

国際商学部長

大澤 正俊 Masatoshi Osawa

国際商学部は、1928年設立の横浜商業専門学校を開学の祖とし、1949年に新制大学（学校教育法に拠る大学）商学部として発足しました。その後、2005年から国際総合科学部（経営科学系）として、これまで、開国・開港の地である横浜にふさわしく、開放的で国際性・進取性に富む学風は受け継がれ、実践力の溢れる人材を多数輩出してきました。現代社会は、グローバル化、ICT（情報通信技術）の急速な発展、少子高齢化による市場の縮小や労働人口の減少等が、想像以上のスピードで進んでいる状況です。これに伴い大きく変化してきているビジネスの世界でも活躍できるリーダーを養成することが、これからの横浜国立大学



の使命であると受け止め、2019年4月国際商学部を設置するに至りました。国際商学部でも「人と進んで交わり共に資質を高める」という開学当初からの理念のもと、精力的に実業界と関わりながら実学力（経営学・経済学の専門性に裏付けられたマネジメントに関する実践力）を養っていきます。そのため学外実習では、実業界で活躍している多くの卒業生とのネットワークと国際商業都市である「横浜」というフィールドを生かし、学問的な理論・知識に加え、実践力を高める教育を行い、実業界や公的機関等で活躍できる職業人の育成を目指します。

4年間の学びのイメージ

	1年次	2年次	3年次	4年次
学部の 特長	国際商学部の入門科目を学び、基礎を固める	経営と経済の基礎理論を学び、2年次後期から専門ゼミに所属し、専門領域を決定する	経営と経済の応用科目からグローバル企業に必要な経営管理能力や企画立案力を学び、専門領域を深める	学修をさらに深化させ、4年間の集大成として卒業論文を作成する
		プレゼミ	演習	卒論演習
		英語による専門科目（基礎） 海外留学・学外実習 前期には、海外留学・学外実習として、 ●海外サマーセミナー参加 ●海外企業インターンシップ等 積極的に海外体験を推奨する期間があります。	英語による専門科目（応用）	大学院科目の早期履修
共通	全学開放科目			
	共通教養科目			
	教養ゼミ/基礎ゼミ	Practical English	Advanced Practical English	
領域横断	領域横断型人材育成プログラム			

■ 実践で学ぶための海外体験や実習

1年次は国際商学部の入門科目を学び、2年次には経営・経済の基礎理論をしっかりと学びます。さらに、2年次の6月中旬から9月にかけて、海外企業インターンシップや短期留学等、積極的に海外での体験を積める期間を設けています。そして2年次後期になると専門ゼミに配属され、専門を深めていくことになります。また、国際商学部では、さまざまな企業や自治体と連携した「企画提案型実習」、医学部やデータサイエンス学部とも連携した「文理融合型実習」を設け、アクティブラーニングによる学びで実践的なテーマに挑戦します。



国際商学部専門科目・全学開放科目一覧

専門科目					
医療イノベーション経営管理論 サービス・ビジネス論Ⅰ サービス・ビジネス論Ⅱ 公会計論 起業家人材論 起業プランニング論 医療経営論 Global Business Administration Global Business Strategy Global Organization Theory Japanese Industry Japanese Economy Global Leadership Global Service Management Global Human Resource Development Introductory AccountingⅠ Introductory AccountingⅡ Intermediate Accounting International Business Basics of Corporate Analysis and Valuation Global Innovation Management Global Marketing	Advanced Topics in Economics Introduction to IFRSs 民法・物権Ⅰ 民法・物権Ⅱ 民法・債権Ⅰ 民法・債権Ⅱ 環境法 財務諸表分析Ⅰ 財務諸表分析Ⅱ 経済統計Ⅰ 経済統計Ⅱ 経済政策Ⅰ 経済政策Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 行政法Ⅰ 行政法Ⅱ 国際金融論Ⅰ 国際金融論Ⅱ	金融論Ⅰ 金融論Ⅱ 計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ 経営財務論 財政学Ⅰ 財政学Ⅱ 公共経済学 地方自治論 コーポレート・ファイナンス ビジネスエコノミクス 商業簿記Ⅰ 商業簿記Ⅱ 会計学原論Ⅰ 会計学原論Ⅱ 工業簿記 経営労務 経営組織論 マーケティング論 国際経営論 原価計算論 国際会計論	経営戦略論 マーケティングリサーチ 組織行動論 人的資源管理論 企業論 経営情報論 財務諸表論 コーポレート・ガバナンス コストマネジメント論 イノベーション・マネジメント 組織文化論 経営史 証券市場論 監査論 ベンチャービジネス論 多国籍企業論 管理会計論 企業戦略論 国際財務戦略 生産管理論 リスクマネジメント論	中小企業論 税務会計論 消費者行動論 流通ロジスティックス論 情報の経済学Ⅰ 情報の経済学Ⅱ 経済数学 国際経済学Ⅰ 国際経済学Ⅱ ゲーム理論 公共政策 都市経済学 ファイナンス理論 契約理論 産業組織論 労働経済学 社会保障論 地理情報システム論 港湾都市論 資源経済学 環境経済学 経済成長論	景気循環論 金融システム論 公共選択論 地方財政学 会社法 租税法 ビジネス法務 手形小切手法 金融商品取引法 倒産法 サマープログラム インターンシップ実習 企画立案型実習A 企画立案型実習B 文理融合型実習A 文理融合型実習B
専門ゼミ					
プレゼミA	演習Ⅰ	演習Ⅱ	演習Ⅲ	卒論演習Ⅰ	卒論演習Ⅱ
卒業論文					
全学開放科目					
国際協力論 国際開発学 グローバル政治論 国際法Ⅰ 国際法Ⅱ 海洋法 グローバル公共政策論 国際機構論 Global Issues Learning Global Cooperation in English International Cooperation in Urban Development 国際人権法 応用言語論 英米言語文化A 英米言語文化B	翻訳文化論A 翻訳文化論B 社会言語論A 社会言語論B European Culture in English 英語構文研究 都市計画論 都市解析 地域活性化論 都市と暮らし 比較社会システム論 住環境計画論 都市空間形成論 地域CSR論 都市デザイン論	参加・協働論 都市財政論 資源循環論 都市防災計画論 不動産マネジメント論 CSR実践論 観光政策論 横浜の都市づくり 労働生活政策論 環境まちづくり論 文化政策論 地域保健医療福祉 日本の都市計画と都市開発 海外調査実習 専門外国語A（フランス語）	専門外国語B（フランス語） 専門外国語A（ドイツ語） 専門外国語B（ドイツ語） 専門外国語A（スペイン語） 専門外国語B（スペイン語） 専門外国語A（中国語） 専門外国語B（中国語） 専門外国語A（韓国・朝鮮語） 専門外国語B（韓国・朝鮮語） アジア諸言語Ⅰ（タイ語） アジア諸言語Ⅱ（タイ語） アジア諸言語Ⅰ（ベトナム語） アジア諸言語Ⅱ（ベトナム語） 代数学 統計の数理Ⅰ	統計の数理Ⅱ 調査設計論 多変量データ解析 統計モデリングⅠ 統計モデリングⅡ 応用統計学Ⅰ 応用統計学Ⅱ データマイニング 機械学習 データ可視化法 ビッグデータ解析 計算機統計学 計算機概論 情報理論 アルゴリズム論	数値解析 最適化理論 並列分散処理 臨床研究・疫学入門Ⅰ 臨床研究・疫学入門Ⅱ 医療統計学 計量経済学モデリングAⅠ 計量経済学モデリングAⅡ 計量経済学モデリングB 金融時系列モデリング サンプリング法 自然科学モデリング 量子計算モデリング

国際人育成をモットーとする横浜市立大学では、さまざまな海外プログラムを用意しています。ここでは、2019年より開始された「第2クォータープログラム」についてご紹介します。

メリットの多い期間を利用する、新しい海外プログラムが誕生！

第2クォータープログラム

2年生前期の後半となる6月～9月に実施するプログラムです。海外で学ぼうとする際、この時期ならではのメリットがあり、それを活かしたのが、この第2クォーターの各プログラムです。

- 1 夏休みより長い期間海外渡航が可能！
- 2 日本人が少ない時期に海外渡航できる！
- 3 豊富なプログラム（学部授業、サマースクール、語学）から選択可能！
- 4 夏休みや春休みの時期に比べてフライト費用が安価！

- **実施時期** 2年生の6月～9月
- **渡航先** 右の表を参照ください。

渡航先（2019年度実績）

学部授業

ユトレヒト大学（オランダ）
カリフォルニア大学ロサンゼルス校（米国）
プリティッシュコロンビア大学（カナダ）
ニューヨーク州立大学ストーニブルック校（アメリカ）

サマースクール

ウェスタンオンタリオ大学（カナダ）
チェンマイ大学（経済編）（タイ）
チェンマイ大学（経営編）（タイ）
高麗大学校（韓国）
淑明女子大学校（韓国／性別は問いません）
国立政治大学（台湾）
シンガポール国立大（シンガポール）

英語研修および初習外国語研修

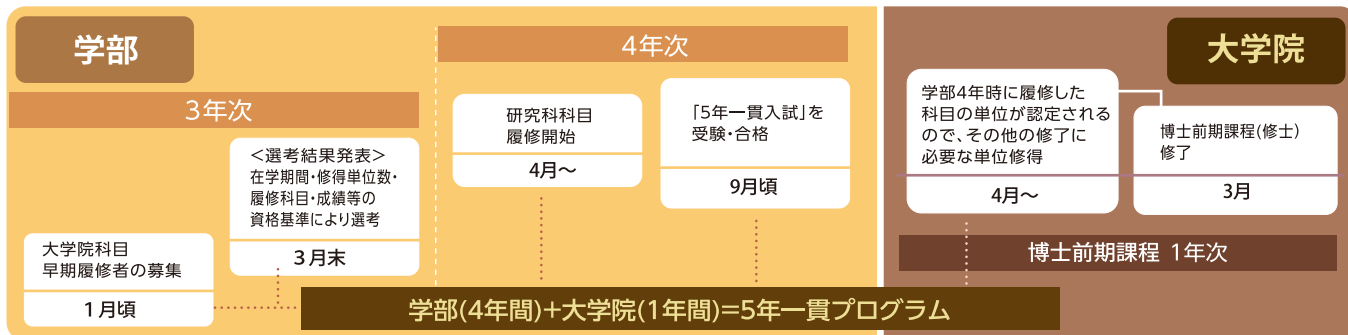
ダブリンシティユニバーシティ（アイルランド）
サイモンフレイザー大学（カナダ）
トゥーレーヌ語学学院（フランス）
マドリード・コンプルランセ大学（スペイン）
ヴュルツブルク大学（ドイツ）
淑明女子大学校（韓国／性別は問いません）

上記の他に海外インターンシッププログラムもあります

詳しい内容はグローバル推進室もしくはキャリア支援センターにお尋ねください

5年一貫プログラム

優秀な学生が学部4年次から大学院科目を履修することにより、大学院に進学した場合、通常は2年間の在籍が必要なところ、1年間で修了（修士の学位を取得）できる制度です。



卒業後の主な進路

■製造業

キーエンス
キャノン
クボタ
コニカミノルタ
デンソー
日本たばこ産業
日本電気（NEC）
日本発条
富士ゼロックス
ポーラ
マルハニチロ
森永乳業
LIXIL
ロッテ

■金融・保険業

日本政策金融公庫
野村證券
みずほフィナンシャルグループ
三井住友銀行
三菱UFJ銀行
ゆうちょ銀行
横浜銀行
■建設・不動産
伊藤忠都市開発
大林組
鹿島建設
清水建設
■広告・コンサルティング・専門サービス
アサツーディ・ケイ

■公務員・教員

浜銀総合研究所
びあ
野村総合研究所
ヤフー
楽天
財務省関東財務局
静岡県庁
仙台市役所
東京国税局
東京都特別区
福島県庁
■商社・卸売・小売
伊藤忠商事
キャノンマーケティングジャパン

■情報通信・マスコミ

住友商事
セブン-イレブン・ジャパン
ファーストリテイリング
富士フイルムメディカル
ブラザー販売
丸井グループ
三井物産
三菱商事
KDDI
ジュビターテレコム
スクウェア・エニックス
西日本電信電話（NTT西日本）
日本放送協会（NHK）

■その他

オリエンタルランド
公文教育研究会
京浜急行電鉄
全日本空輸（ANA）
名古屋鉄道
日本航空（JAL）
東日本旅客鉄道
横浜シーサイドライン
■主な進学先（大学院）
横浜市立大学
東京工業大学
一橋大学
早稲田大学

ほか

教員紹介

Introduction of teachers

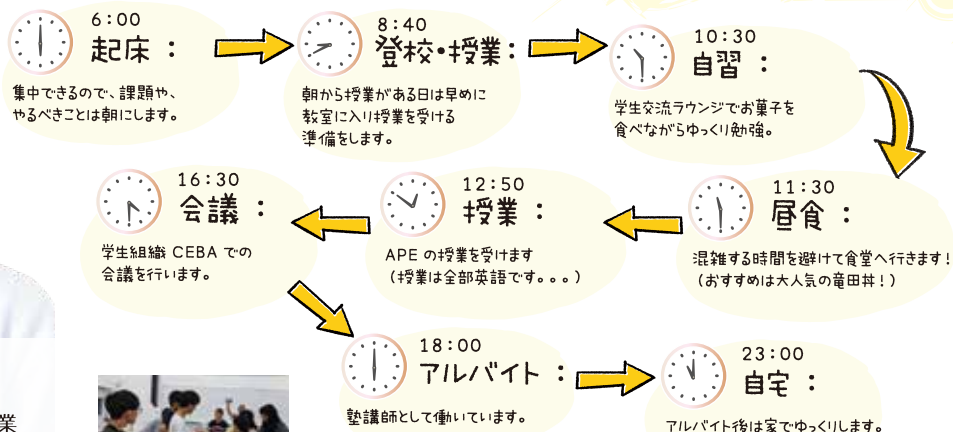
	芦澤 美智子 アシザワ ミチコ 准教授 起業家人材論 <i>Michiko Ashizawa</i>		黒木 淳 クロキ マコト 准教授 管理会計論 <i>Makoto Kuroki</i>		長畑 周史 ナガハタ シュウシ 准教授 会社法 <i>Shushi Nagahata</i>
	岩佐 朋子 イワサ トモコ 准教授 ビジネスエコノミクス <i>Tomoko Iwasa</i>		小泉 大輔 コイズミ ダイスケ 准教授 人的資源管理論 <i>Daisuke Koizumi</i>		永松 陽明 ナガマツ アキラ 准教授 経営情報論 <i>Akira Nagamatsu</i>
	大澤 正俊 オオサワ マサトシ 教授 民法・物権 <i>Masatoshi Osawa</i>		坂口 利裕 サカグチ トシヒロ 教授 社会学 <i>Toshihiro Sakaguchi</i>		中村 祐太 ナカムラ ユウタ 講師 ゲーム理論 <i>Yuta Nakamura</i>
	太田 塁 オオタ ルイ 教授 国際経済学 <i>Rui Ota</i>		柴田 典子 シバタ ノリコ 准教授 マーケティング論 <i>Noriko Shibata</i>		藤崎 晴彦 フジサキ ハルヒコ 准教授 原価計算論 <i>Haruhiko Fujisaki</i>
	大塚 章弘 オオツカ アキヒロ 准教授 都市経済学 <i>Akihiro Otsuka</i>		白石 小百合 シライシ サユリ 教授 計量経済学 <i>Sayuri Shiraishi</i>		三浦 敬 ミウラ タカシ 教授 会計学原論 <i>Takashi Miura</i>
	小沢 和彦 オザワ カズヒコ 准教授 経営管理論 <i>Akubiko Ozawa</i>		随 清遠 ズイ セイエン 教授 金融論 <i>Qingyuan Sui</i>		安川 文朗 ヤスカワ フミアキ 教授 医療経営論 <i>Fumiaki Yasukawa</i>
	鴨志田 晃 カモシダ アキラ 教授 サービスビジネス論 <i>Akira Kamoshida</i>		高橋 隆幸 タカハシ タカユキ 教授 税務会計論 <i>Takayuki Takahashi</i>		山藤 竜太郎 ヤマフジ リュウタロウ 准教授 国際経営論 <i>Ryutaro Yamafuji</i>
	河瀬 宏則 カワセ ヒロノリ 准教授 経営財務 <i>Hironori Kawase</i>		張 櫻馨 チャン インシン 教授 国際会計論 <i>YingHsin CHANG</i>		吉永 崇史 ヨシナガ タカシ 准教授 経営組織論 <i>Takashi Yoshinaga</i>
	康 聖一 カン ソンイル 教授 情報の経済学 <i>Seongill KANG</i>		中條 祐介 ナカジョウ ユウスケ 教授 財務諸表分析 <i>Yusuke Nakajo</i>		和田 淳一郎 ワダ ジュンイチロウ 教授 公共経済学 <i>Junichiro Wada</i>
	鞠 重鎬 クック ジュンホ 教授 財政学 <i>Joongh KOOK</i>		中園 善行 ナカゾノ ヨシユキ 客員准教授 マクロ経済学 <i>Yoshiyuki Nakazono</i>		



仲谷 嶮

国際商学部国際商学科・2年
国立奈良女子大学附属中等教育学校 卒業
ギターや読書にハマっています。今はVRに関心があり、より高度な技術を手に入れたいと考えています。スキー部と学生組織 CEBA で活動しているので、興味があればぜひお声がけください！

1日のスケジュール



学生組織CEBA主催の流しそめん



スキー部の大会で！



国際交流プログラムに参加しました。



YCU のここがイイ！

一番きれいなYCUスクエアがお気に入りです。ホワイトボードやエアコンも完備されグループワークにも適した環境です。また、自習の際には、図書館だけでなく学生交流ラウンジも利用しています。ここではゆったりお菓子を食べながら勉強できるので、リラックスして勉強したい人にはおすすめです！



一週間の時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
a m	自習・課題	自習	授業	授業	自習・課題	自習・課題	オフ
		授業		自習・課題			
p m	授業	アルバイト	基礎ゼミ	授業	授業	アルバイト	
	アルバイト	学生組織 CEBAの会議	アルバイト	アルバイト	アルバイト	オフ	

Q1 横浜市立大学国際商学部を選んだ理由

A. 正直にいうと・・・パンフレットに掲載されている YCU の美しい写真と、「国際」+「商学（経営）」というワードに惹かれてこの大学を選びました。

Q2 YCU への受験のため意識したこと、工夫したこと

A. 僕は、公募推薦入試で合格しました。志望大学が横浜市立大学だけではなかったため、横浜市立大学の二次試験以上に、センター試験を中心とした勉強、センター試験を記述式に変換した勉強などをしていました。汎用性のある勉強をすることが大切だと感じており、「横浜市立大学だけに当てはまる勉強」という考えではなく、「どの大学受験にも通用する勉強」をすることを意識して勉強をしていました。



受験対策 Q&A

Q5 受験生へメッセージ

A. 大学受験の勉強をする経験は今後一切ないと言っても過言ではないと思います。辛い時もあるかもしれませんが、その辛さは一生に一度の経験だと思って楽しんでください！

Q4 おすすめの受験対策・勉強法

A. まずは過去問を解いてみることをお勧めします。そうすることによって自分のレベルがイメージしやすくなると思います。その後は、何が足りないのか、何を得意とし、何を不得意とするのかを分析します。そして、足りない部分かつ自分が得意とする分野をまずは伸ばしてください。最後に足りない部分かつ不得意な部分を伸ばすというのが、合格へのベストなプロセスであると思います。

Q3 受験で苦労したことや辛かったことは？ また、それをどう乗り越えた？

A. 僕は1年間浪人していました。そのため、朝から晩まで塾に通い続ける日々だったのですが、友達がいなかったため、ずっと一人で机に向かっていたことが辛かったです。でも、これが一生続くわけではなく、1年間だけだと考えると頑張れました。何事もずっと続くわけはないと考えることがポジティブ思考への起点ですね。

パスライフ

1日のスケジュール



8:30
通学：

座れる電車を利用して英語のリスニングをしながら通学します。



9:30
他大学の授業：

市大で取りきれない科目を他大学で補うこともあります。



10:30
演習：

統計ソフトを用いた発表等を行い、刺激を受けながら知識を深めます。



浅香 柚月

国際総合科学部国際総合科学科
経営科学系経済学コース・3年

神奈川県立神奈川総合高等学校 卒業
専攻は計量経済学で、人々が献血など医療に関連した行動を起こす要因を分析することに 관심이あります。



13:30
読書：

福浦キャンパスで講義がある日は医学情報センターで情報収集します。



12:10
部活動

鉄道研究部の部会に参加しながらメンバーと一緒に昼食を取ります。



14:30
授業：

専攻の経済学関連や APE、数学科目や医学部の科目等幅広く履修しています。



16:00
自習：

大学構内でその日に出た課題や次の日の予習をします。



21:00
退構：

21 時までは文研棟ロビーで作業をし、夕飯は自宅で食べます。



一週間の時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
a m	語学		演習の予習	語学	語学		家族と外出 or 研究の フィールド ワーク
	授業	他大学での 授業	演習	授業	授業	友人と外出 or 自習	
p m	授業	授業	授業	読書	趣味 (鉄道で小旅行)		
	自習	授業	自習	授業			

YCU のここがイイ！

学内の先生方や職員の方のみならず、地域の方にも見守っていただける大学です。私は学外でオープンキャンパスのスタッフの仕事をしている際にたくさんの地域の方が話しかけてくださった経験があります。大学にも地域にも温かい雰囲気が漂っているのを日々感じています。また、講義が少人数なので、疑問点を質問しやすい雰囲気があります。おかげで、高校時代には苦手意識があった経済学も得意分野になり、専攻として、また将来の展望として選択することができました。

Q1

横浜市立大学国際商学部を選んだ理由

A. 「社会科学的視点からがん治療に貢献したい」という展望に大きく結びつくと考えたからです。横浜市大は商学と医学の両面で歴史があるのに加え、共通教養科目等を活用して学問分野を横断して学べるカリキュラムは大きな魅力でした。

Q2

YCU への受験のため意識したこと、工夫したこと

A. 指定校推薦入試を利用して入学しましたが、一般入試も受験できるようにするため、センター試験対策に加えて文理関係なく幅広い分野の検定試験を活用して学習した結果、10 種類以上の検定を取得することができました。また、小論文や志望理由書への対策として、論文の書き方に関する図書を参考にし、論理的にわかりやすく文章を書く練習をおこないました。加えて、推薦入試の合格後には先取り学習としては、センター試験より少し高レベルな英語での読書や当時間関心があった経営学の学習、追加的な検定試験の受験に努めていました。

Q3

受験で苦労したことや辛かったことは？
また、それをどう乗り越えた？

A. センター試験や検定試験の対策はほぼ自学だったので、疑問点が生まれた際に解決できるよう、全科目に最低 1 人相談できる高校の先生を決め、わかるまで質問していました。また、完璧主義な性格から深夜まで勉強することもありましたが、先生方とコミュニケーションを取るようになって生活面でもサポートしていただき、心身ともに健康を保つことができました。

受験対策 Q&A

Q5

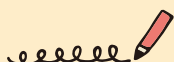
受験生へメッセージ

A. 勉強の仕方は人それぞれ様々だと思いますが、周囲の人のアドバイスを大切にしながら自分に合う方法を確立してください。もし私の受験対策が何かのヒントになれば嬉しく思います。

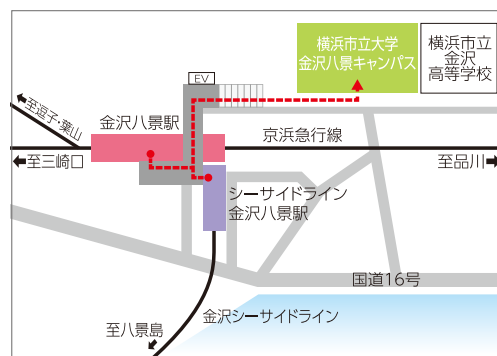
Q4

おすすめの受験対策・勉強法

A. 前述の通り多くの検定試験を取得しましたが、入学後に特に役立ったのはニュース時事能力検定と実用数学検定です。また、論文の書き方を学んでおくと入試だけではなく入学後の卒業論文等にも役立ちます。特に欧米式の書き方を覚えると英語の読解問題もスラスラ読めるようになるので、全ての受験生に学習をオススメします（参考書は『論理が伝わる「書く」技術』がオススメです）。もし余力があれば TOEFL 等外部試験のスコアを取っておくと、入学後に早めに発展的な英語科目が履修できるメリットがあります。



横浜市立大学へのアクセス



- 京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分
- シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩5分

YCU
横浜市立大学
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

www.yokohama-cu.ac.jp

横浜市立大学 国際商学部

[お問い合わせ] アドミッションズセンター

〒236-0027 神奈川県横浜市金沢区瀬戸22-2 TEL.045-787-2055 FAX.045-787-2057

